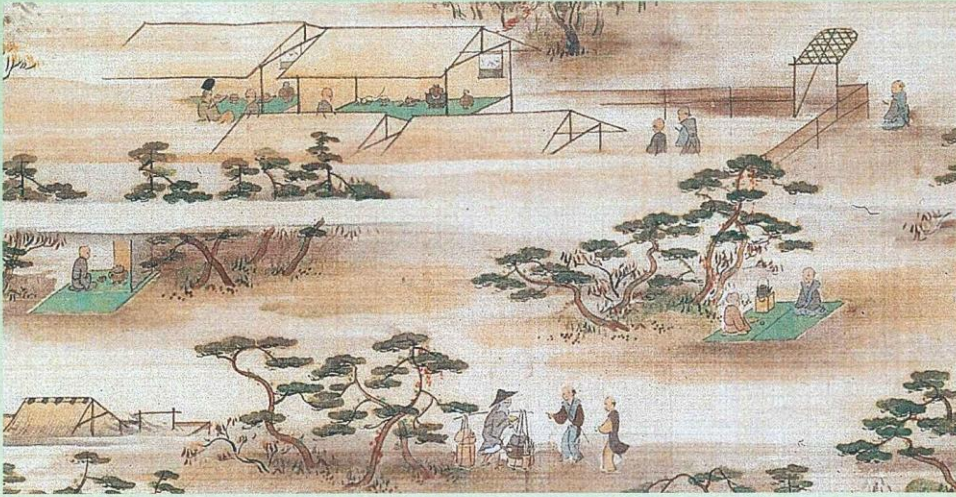


◇細川忠興と松井康之がハマった茶の湯の世界とは!?

道具が飾られた座敷に集まり、茶を飲んで楽しむ「茶の湯」は、武将が身につけるべき教養のひとつとして愛好されました。武将と茶の湯のかかわりにおいて、大きな画期となったのが安土桃山時代。茶の湯好きの天下人豊臣秀吉や、「侘び茶」の大成者千利休らの活躍によって、当時の武将たちの間では空前の「茶の湯ブーム」が巻き起こりました。

この時代に活躍した細川忠興と、その家老松井康之もまた、茶の湯に夢中になりました。忠興・康之は、千利休に師事して茶の湯を学び、利休のあと茶の湯をリードした古田織部とも厚い親交を結んでいたことが数々の資料からうかがえます。

本展覧会では、八代とも関係の深い二人の武将、細川忠興と松井康之の茶人としての姿を、ゆかりの名品からひも解きます。



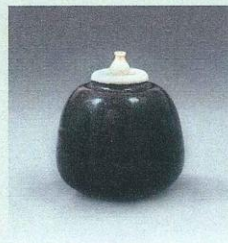
茶の湯好きは全員集合! 秀吉が北野天満宮で開いた大茶会

北野大茶湯園 (部分) 浮田一蕙筆
江戸時代後期 (19世紀) 茶道資料館所蔵 (11/10まで展示)



利休が所持した 黒楽茶碗

黒楽茶碗 銘 次郎坊
長次郎作 桃山時代 (16世紀)
福岡市美術館所蔵



忠興が愛した 利休旧蔵の茶入

唐物尻膨茶入 銘 利休尻ふくら
中国南宋～元時代 (13～14世紀)
永青文庫所蔵



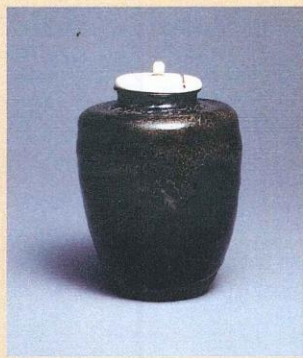
織部が康之へ 贈った水指

南蛮耳付水指
江戸時代前期 (17世紀)
松井文庫所蔵

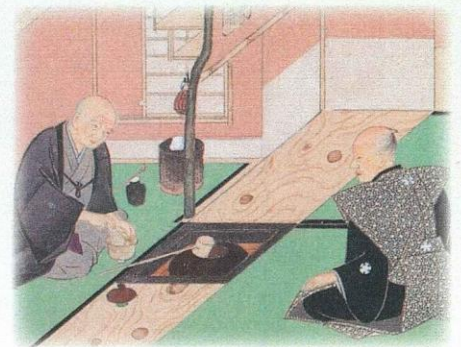
熊本県内初公開! 細川忠興ゆかりの名品



忠興が徳川秀忠から拝領した伝説の墨蹟
拙庵徳光墨蹟 (金渡墨蹟) 拙庵徳光筆
中国南宋時代 (13世紀) 鹿苑寺所蔵 国指定重要文化財



忠興がどうしても欲しかった茶入
唐物肩衝茶入 銘 安国寺 (中山肩衝)
中国南宋時代 (13世紀) 五島美術館所蔵



茶の湯絵巻 (部分) 橋尚利筆
江戸時代後期 (19世紀) 茶道資料館所蔵

【交通のご案内】

- JR** 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- 車** 八代ICから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>